

ツノヒシガタグモ

Episinus bicornutus Yoshida

新蛛亜目
METATHELAE
ヒメグモ科
Theridiidae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 掲載なし

選定理由	1981年7月22日糸戸岳, 1981年6月8日, 大分市において確認されて以来, 急激に個体数が減少している。
県内分布	津久見市保戸岳, 津久見市四浦, 津久見市刀自ヶ浦, 大分市中判田, 大分市竹中
分布域	九州
生息環境	照葉樹林帯マント群落の低部に造網する。リター内にも小規模個体群が認められることがある。
現 状	津久見市保戸岳, 大分市中判田では極少個体となっている。
備 考	1983年, 県産個体をタイプ標本として吉田哉により新種記載。

フウレンホラヒメグモ

Nesticus furenensis Yaginuma

新蛛亜目
METATHELAE
ホラヒメグモ科
Nesticidae

カテゴリー

大分県 地域個体群
環境庁 掲載なし

選定理由	野津町風蓮洞のみに生息。洞内人工照明により生息環境が狭小化し, 個体数が減少している。
県内分布	野津町風蓮洞
分布域	九州(大分)
生息環境	洞窟内暗部の崖くぼみなどに造網。
現 状	風蓮洞でも未開発の部分でないと, 確認しがたい。
備 考	特定の洞窟に特定の種個体群を形成する。

ブンゴホラヒメグモ

Nesticus bungonus Yaginuma

新蛛亜目
METATHELAE
ホラヒメグモ科
Nesticidae

カテゴリー

大分県 地域個体群
環境庁 掲載なし

選定理由	緒方町の九十九折洞のみに生息。観光地化がすすみ, 人為干渉頻度が高くなりつつあり, 生息環境が狭小化している。
県内分布	緒方町九十九洞
分布域	九州(大分)
生息環境	侵食洞暗部の石の下や崖のくぼみに造網。
現 状	個体数減少中。
備 考	特定の洞窟に特定の種個体群を形成する。